

# COLUMN

鎌倉の猫事情 第六十九話

今年は2007年。まだ1年の半分しか過ぎていないのに、目まぐるしく、毎日のように大きな事件が起きています。記憶に刻まれる年になるのでしょうか。

グーニー君にとっての「あの年」はまさに生死を分ける記憶に刻まれる年でした。大病に冒されたグーニー君は、痛みと戦う辛い日々を送っていました。ところが、近所の悪猫たちがそんな手負いのグーニーを放っておくはずがなかったのです。元気な頃のグーニーがどれほど路地を威嚇していたかを思えば、それも無理はありません。と言ってももう長い間グーニーは、おとなしく家の中に引きこもっていたのですが、彼らはそれでも容赦なく、我が家の猫の額ほどの庭や、物干し台や、窓際へと侵入してきました。幾度か姿を確認したのは、黒猫と茶トラ猫でした。特に茶トラ猫は顔も体も丸々として大きく自信満々です。私はグーニーを守るため、我が家の敷地で彼らの姿を見かける度、大声を出して脅したり、水を張った鍋を持って追いかけてたりして応戦しましたが、それを嘲笑うように、またどこからともなく入ってきます。

家の中の猫達にも緊張感が漲っており、表のほんの小さな物音にも三匹の猫家族は敏感に反応していました。ある夜、私が窓際の机に向かっていている時何か気配を感じて窓を振り返ると、大きな窓ガラスに茶トラ猫が四本足を広げてへばりついているのです。こちらからは太った白いお腹が丸見えです。いったいツルツル滑る窓ガラスにどうやってへばりついたのか知りませんが、その格好のおかしさに、怒りを忘れて笑ってしまいました。そして思いっきり窓を開けてやると転がりそうになりながら逃げ去ったのです。その後ろ姿に、おかしい奴だと親しみもわいたものですが、それこそとんでもないことでした。その頃の私は、いつもグーニーの様子を気にかけていました。あの事件のあった日は、具合が良さそうなので夕方7時頃出掛けました。そして、10時よりも前に帰ってきたのです。グーニーは、スイピーと一緒にいつものように階段の上で私のことを待っていましたが、何か変だと思い、よく見るとグーニーの左前足が腫れ上がって、足が床に着けなくなっているのです。どうして?? さっきまでなんともなかったのに……

おかしいと思えば、あちこち調べてみると、どうやら、私が出掛けるのを待って、グーニーは襲撃されたのです。

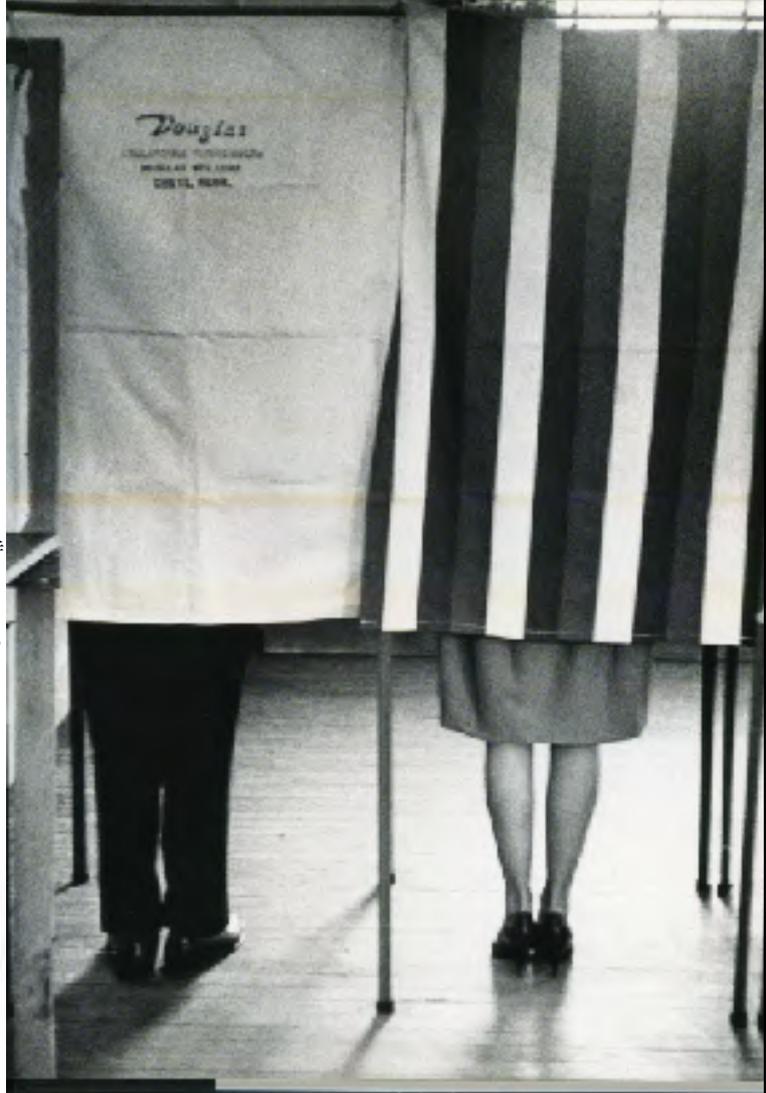
あの茶トラ猫に違いない……

なんて、ひどいことを……

私は生まれて始めて、

猫に強い憤りを覚えました。

to be continued



## Whisper

小道のささやき

まだ6月というのに、真夏のような太陽がざらざらと地面を照りつけている。額に手をかざして見上げる日の光はひまわりの花のように大きく、それでいて、晩夏のそのように濁いて、きりきりと鋭く、秋の気配すら感じさせる。

子育てを終えようとするツバメ達も、何か迷うように巣の周りを不安そうに飛び回っているが、そこにはもうとうに、可愛いひな達の影はない。

太陽もあのツバメ達のように迷い始めているのだろうか。何かの不安は、全然見当違いの不安をも生みだし、それはパレットの上の絵の具のようにどろどろと交り合って混沌とした色合いを造り出す。

6月の鎌倉の曲がりくねった小道には、紫陽花の花を探する人々が行き交っている。上がったたり、下がったり、線路に沿って歩いたり、紫陽花の花の咲き乱れるところには不思議なことが起きるのを、あの人たちはまだ知らないだろうか。細かな霧雨が降る夕暮れに、紫陽花の花の咲く小道はご用心ご用心…… 立ち込めた霧のような雨の中、あの紫陽花の根元から、こちらの紫陽花の茂みから、誰かが話すひそひそ声が聞こえることがある。耳をすまして聞いてみても何かのささやきのようなだったり、小さな笑い声だったり、その正体はわからない。

紫陽花の花には魔物が住んでいるという。

そして、その花の下には昔戦いに敗れた武士達の亡骸が埋まっているという。その血を吸って紫陽花は、青く、赤く咲き乱れているのだ言い伝えられているけれど、そのささやきは霧雨のふる夕暮れと決まっているのだ。

だから、今年のように濁った梅雨には聞こえてこない。

それでも、もし細かな雨が降る日があったなら、地面から霧が立ち昇るような夕暮れに、紫陽花の花が妖しく光るのを見ることがあったなら、そっと引き返した方がいい。

聞いてはいけないもの…… 見てはならないもの……

引き返せない世界が、霧の中にはあるものだから……





## 骨董・古陶磁 古民芸

# CURIO



cu·ri·o  
— n. (pl. ~s) 骨とう品。  
cu·ri·os·i·ty  
— n. 好奇心; 珍奇なもの。  
curiosity shop 骨とう店。

ミルクホールでは、和洋家具、アンティーク、伊万里など、普段の生活の中で使えるものを買いたい価格で揃えています。が、ミルクホールの棚の中には意外な珍品、掘り出し物が潜んでいます。棚の奥で眠っている不思議で珍しく、妖しいものの数々を、ご紹介していきたいと思えます。

## ミルクホールの 珍品達

### 宋時代 白磁の笛

中国宋時代の子供のおもちゃだったようです。子供が犬か何かの腰掛けている形で、型で作られています。何故か音はでませんが、千年も昔の子供達がこれで遊んだのかなと想像すると楽しくなってきます。 ¥12000

### ストーンウエア

イギリス18世紀の瓦が再入荷しました。イギリスの建築によく使われている石のスレートの風合いで、瓦を焼いたもののような感じです。3枚入荷。国内にまだ少し在庫があるようです。

1枚 ¥7500

### 天燈器

天邪鬼が何かを肩に担いでいる形をしています。陶製です。残念なことに肩に担いだものは破損してなくなっていますが、前は灯籠台だったもの。恐いけれど味のある鬼です。時代は不明です。 ¥18000



# HISTORY

場所の記憶 No.16

今回は、鎌倉のお隣、藤沢のお寺遊行寺に古くから伝えられるお話をもとにしたお芝居の紹介です。藤沢は鎌倉とは昔から深い歴史の繋がりをもつ土地でした。鎌倉とは全く異質な成り立ちの魅力のある文化とそれを支える人達の町です。

## 遊行かぶき 遊行舎公演

作・演出/白石征  
音楽/J.A.シーザー  
説教節/政太夫

会場/遊行寺本堂 公演日/8月31日 9月1日・2日



小栗恋しや、照手の姫は、夫のためとて車引く  
藤沢に生まれ、藤沢で育った遊行かぶきの傑作が、  
今年もまた遊行寺において、感動の渦を巻き起こす

道行にみる修羅の癒し 斎藤 慎爾(俳人・評論家)

『小栗判官と照手姫・愛の奇跡』を見終えたあと、遊行寺の大門をくぐり、駅への道を辿りながら、なお私は間歇泉のごとく突き上げてくる感動の余韻に全身を委ねていた。

演劇の始原へ、混沌とした母なる闇へと回帰、廻行の嗜好性をみせる白石征氏の実存的自由の冒険に対して賛嘆と驚きを禁じえなかったというのが正直なところだった。貧血がちの演劇史の流れとの関連で氏の仕事を考察するとき、その登場は、異類異形の中世が現代に闖入してきたという印象を与える。

折口信夫が指摘するように「日本の古い舞台の一部は墓、塚に設けた。すなわち、魂の集中しているところである」。藤沢遊行寺を自らの劇的世界と交差させた白石氏の舞台が、その成果を幾層倍にもみちびき出されたことは、けだし当然だった。

あの夕べ、本堂の畳の上に足を投げ出し、遊女小萩となった照手と道行をともにしながら、私たちの罪穢を祓い、苦悩を癒す幻想の地に誘われて出ていたのだ。

### 2006年舞台総合芸術ベストワンに!

総合演劇雑誌「テアトロ」(2007・3)誌上 演劇評論家 田之倉稔氏激賞!

## Milk Hall Now

ミルクホールの  
蚤の市

ミルクホールの蚤の市を再開いたします。20年前に第一目のミルクホールの骨董ガラクタ市を開催し、その後大変な好評を頂き、和洋家具を中心に、骨董・アンティークと「古いものならなんでもあり!」という目標を掲げて15年間定期開催を続けた蚤の市を、5年ぶりにミルクホール夏の市として開催いたします。今年には年末にもう一度開催する予定です。詳しい情報はお問い合わせ下さい。

# LIVE

## 7/28 Sat. pm 7:30

by HALF MOON

ハーフムーンのライブで、  
MILK HALLのBAR TIMEを  
お楽しみください

7月・8月のライブは、  
第四土曜日の夜です。

HALF MOONの音楽は  
愛と平和を歌います。

琢磨 仁(Jin Takuma)  
琢磨 啓子(Keiko Takuma)

# Information

## ミルクホールタイムス定期購読募集

ミルクホールタイムスご愛読頂くお客様へ  
ミルクホールタイムスは、毎月25日の定期刊行致しております。ミルクホールでは定期購読ご希望のお客様を募集しております。お申し込みの方へは、毎月25日に発送致します。メール、FAX、お書葉などのお申し込みをお待ちしております。年間定期購読料 ¥1500

### ミルクホールタイムス総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」No.001 ~ No.100  
ミルクホールにて販売中 一部 ¥1800

ミルクホールタイムス創刊号から100号まで全てを編集した、ミルクホールタイムス総集編を発行いたしました。人気連載中の『鎌倉の猫事情』が、第一話より前編終りまで掲載されています。HPからのお申し込みもお受けしています。

〒248-0006

PHONE 0467-22-1179

鎌倉市小町2-3-8

e-meil/ info@milkhall.co.jp

ミルクホール

骨董・ガラクタ市

伊万里・古陶磁  
和洋家具  
古民芸  
アンティーク

# 夏の市

ミルクホールの蚤の市を再開します！

日本の木の香りを大切にしたい

ミルクホールの蚤の市

明治・大正時代に日本で作られた和洋家具

温かい光を作るランプシェードやガラス

明治の銅版・大正の色絵、伊万里に古伊万里  
懐かしいもの、掘り出し物で一杯です

7/21 Sat. 22 Sun.

7月第3土曜日 ミルクホールにて  
朝11時より 夕方6時まで

## 新入荷情報

### ♠ 和洋家具

★★明治・大正・昭和初期の和洋家具です  
衣裳箆笥・小箆笥・ケース新入荷

ミルクホールの和洋家具は、熟練のスタッフが修理しています。  
日本の古い家具は、作りの良さと、温かみを感じます。

- ★★★明治時代衣裳箆笥 明治四十四年新潟箆笥  
抽斗二段 ￥28000より
- ★★大正小箆笥 ￥24000
- ★★明治時代帳場箆笥 特価 ￥73000
- ★★大正大阪水屋二段 特価 ￥78000
- ★★戦前コートハンガー ￥18000

- ★昭和初期鏡台 ★★大正飾り棚
- ★文机・ちゃぶ台 ★昭和30年代本立て各種
- ★★昭和初期時計屋用デスク
- ★★昭和初期ガラス入り本箱各
- ★昭和初期食卓椅子・籐椅子
- 家具は夏の市当日にも入荷します。  
何が来るかは私達にも分かりません。  
初日の朝がチャンス。乞うご期待！

### ♣ 古民芸

- ★★明治時代蔵戸 ★★青銅器
- ★★灯籠台 天燈器
- ★★中国鉄製獅子香炉
- ★★李朝盆
- ★★根来椀
- ★銭函・箱類
- ★アフガン石仏
- ★仏お守り



## ..... ANTIQUES

伊万里・古伊万里  
ガラス器・骨董・アンティーク  
全品20%引き

古布  
古着・着物  
全品30%引き

ミルクホールでは、日本の昔のものを中心に、  
和洋家具、アンティーク等、毎月入荷しています。  
伊万里や、古代の発掘品など、骨董好き必見の品も有り、  
使える値段の骨董を是非毎日使って見て下さい。

### 和の小もの

★ ミルクホールオリジナル新作帯 入荷予定！

ミルクホールオリジナル和の小もの  
大正・昭和初期時代の絹の着物の布地を  
素材に使った和の小もの色々です

### ✂ 帯・つくり帯

★★大正・昭和初期名古屋帯  
★半幅各種

### ✂ 古布

★長尺ものから 端切れまで

つくり帯  
半衿・帯揚げ  
くるみボタン  
かんざし

### ✂ 半衿・帯揚げ

ミルクホールオリジナルの半衿です  
昔の着物を解いて作っています。

★★各種半衿・夏物入荷  
半衿 ￥800より 帯揚げ ￥800より

### ✂ 着物・アンティーク古着

★★大正時代着物色々  
夏物単衣・木綿緋・ゆかたなど  
着物 紬・銘仙など

着物を普段に着られる値段にしたい...

### ♣ 古陶磁

★★各種 新入荷

★★★伊万里そば猪口キズ物多数入荷！

伊万里のそば猪口は大変高価なものになってしま  
いました。キズ物も修理をすればちゃんと使えます。

- 金継ぎ・ニュー直しなど ￥1200より
- ★★★江戸初期古唐津陶片各種
- ★★大正色絵碗・小皿・徳利各種新入荷
- ★★明治銅版小皿新入荷 文明開化絵皿など
- ★★古伊万里豆新皿入荷 ★★平戸猪口
- ★★古伊万里なます皿 ★★伊万里錦なます皿
- ★★高麗青磁色々 ★★明古染 杯
- ★初期伊万里陶片 ★縄文土器欠片

### ◆ アンティーク

★★大正・昭和初期の色ガラス新入荷

- ★★昭和初期目洗いグラス
- ★★明治・大正の氷グラス各種
- ★★昭和初期色ガラスショットグラス
- ★★昭和スタンドライト各種
- ★アンティークシェード各種
- ★レプリカシェード ￥5800より

